

高校日本史プリント（過去問類似）

近代 I（開国～明治） No.7

名前

得点

/10

問1 明治維新期の改革をめぐり、1876年に三重県などで発生した伊勢暴動において、農民たちは徴兵制の導入により兵役の義務を負うようになったにもかかわらず、租額の負担が軽減されないことなどに強い不満を表明した。この暴動に代表される、1873年に開始された土地・租税制度の改革に対する一連の抵抗運動を何というか。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. 血税一揆 2. 新政反対一揆 3. 地租軽減運動 4. 地租改正反対一揆

問2 明治憲法の制定に尽力した伊藤博文は、ヨーロッパ諸国においてキリスト教が国民統合の機軸となっていることを視察した。しかし、当時の日本にはそれに匹敵する強力な宗教が存在しないと考えた彼は、キリスト教に代わる日本独自の国民統合の機軸として、どのような存在を据えようとしたか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 天皇 2. 皇室 3. 元老 4. 内閣

問3 明治期の条約改正交渉において、外務大臣大隈重信が領事裁判権の撤廃を実現するための妥協案として、外国人を判事として任用することを認めた、当時の日本の最高司法機関は何か。 （2024年 全国公立入試 類似）

1. 控訴院 2. 大審院 3. 司法省 4. 弾正台

問4 明治時代中期、自由党左派の大井憲太郎らは、清国の干渉を排除して隣国の内政改革を支援し、それによって日本の民権運動の振興を図ろうと計画した。この計画に景山英子（のちの福田英子）らも加わったが、渡航直前に検挙された。この、自由民権運動の激化期に発生した事件は何か。 （2021年 全国公立入試 類似）

1. 大阪事件 2. 秩父事件 3. 群馬事件 4. 静岡事件

問5 明治期、渡良瀬川流域で発生した大規模な鉱山公害に対し、衆議院議員を辞職して明治天皇への直訴を試みるなど、生涯をかけて被害住民の救済と政府の責任追及に奔走した政治家は誰か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 幸徳秋水 2. 田中正造 3. 安部磯雄 4. 木下尚江

問6 江戸幕府が道中奉行の管轄下に置き、将軍の参勤交代や物資の輸送のために整備した、日本橋を起点とする5つの主要な陸上交通路の総称を何というか。 （2007年 全国公立入試 類似）

1. 宿場町 2. 問屋場 3. 一里塚 4. 五街道

問7 1873年に明治政府が公布した、国民皆兵を原則とする軍事制度に関する法令について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 （2008年 全国公立入試 類似）

1. 廃刀令 2. 町村制 3. 府県制 4. 徴兵令

問8 1890年、長州出身の首相である山県有朋は、施政方針演説において、国家の独立を維持するために「主権線」と「利益線」の防衛が必要であると主張し、軍事予算の拡大を求めた。この演説が行われた、大日本帝国憲法下で最初に開設された議会の名称として最も適当なものを答えよ。 （2005年 全国公立入試 類似）

1. 第6回帝国議会 2. 第4回帝国議会 3. 第2回帝国議会 4. 第1回帝国議会

問9 1881年の政変によって国会開設の勅諭が出された後、憲法制定の準備のためにヨーロッパへ派遣された伊藤博文が、君主権の強い憲法体制を模範とするために、主に調査・研究の対象とした国はどこか。 （2011年 全国公立入試 類似）

1. アメリカ 2. ドイツ 3. フランス 4. イギリス

問10 明治初期の殖産興業期において、元僧侶の人物によって考案された、簡単な構造を持つ和風の紡績機械を何というか。水力を動力とし、ガラガラと音を立てて回転することからその名が付き、洋式紡績機が本格的に導入されるまでの過渡期において、国内の綿糸生産を支え広く普及した。 （2010年 全国公立入試 類似）

1. 力織機 2. ガラ紡 3. 紡績機 4. 製糸機

答え合わせ・解説 No.7

| | | |
|-----|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1 | 答え 4 地租改正反対一揆 | 明治政府が1873年に開始した地租改正に対し、農民たちは激しい反対運動を展開した。特に1876年の伊勢暴動などの地租改正反対一揆において、農民たちは徴兵制によって兵役の義務を課されたにもかかわらず、地租の負担が軽減されず、かえって諸税が増加していることに強い不満を抱いていた。この一揆の激化を受けて、政府は1877年に地租を3%から2.5%に引き下げる措置をとった。なお、秩禄処分は士族の家禄を廃止した政策であり、農民の土地を奪って困窮させたという解釈は誤りである。 |
| 問2 | 答え 2 皇室 | 伊藤博文は憲法制定の審議（枢密院など）において、ヨーロッパでは宗教が人々の心をつなげる機軸となっているが、日本には宗教の力が弱いので、これに代わるものとして皇室を機軸としなければ国家が成り立たないと主張した。この考えに基づき、天皇を中心とする国家体制が整備されていった。 |
| 問3 | 答え 2 大審院 | 井上馨の条約改正交渉が失敗に終わった後、外務大臣に就任した大隈重信は、各国と個別に交渉を進める方針をとった。その際、領事裁判権の撤廃の代償として、日本の最高司法機関である大審院に外国人判事を任用することを認めるという妥協案を提示した。しかし、この内容がロンドン・タイムズ紙にスクープされると、日本の主権を侵害するものであるとして国内で激しい反対運動が起こり、大隈が襲撃される事件へと発展して交渉は挫折した。 |
| 問4 | 答え 1 大阪事件 | 1885年、大井憲太郎や景山英子（福田英子）らは、朝鮮に渡ってクーデターを起こし、内政改革を断行して清国の影響力を排除しようと企てた。しかし、渡航直前に大阪で発覚して逮捕された。この事件は自由民権運動の激化事件の一つに位置づけられる。 |
| 問5 | 答え 2 田中正造 | 足尾銅山鉱毒事件において、渡良瀬川沿岸の住民が被った甚大な被害を救済するため、帝国議会で政府の責任を追及し続けた。1901年には議員を辞職し、明治天皇への直訴を試みることで世論に直接訴えかけようとした。 |
| 問6 | 答え 4 五街道 | 江戸幕府は、江戸を中心とする支配体制を確立するため、東海道、中山道、甲州道中、日光道中、奥州道中の五街道を整備し、道中奉行に管理させた。街道沿いには宿駅（宿場）が設けられ、本陣や脇本陣、旅籠などが置かれた。 |
| 問7 | 答え 4 徴兵令 | 1873年に発布されたこの法令は、満20歳以上の男子に兵役を義務づける国民皆兵を原則としたが、戸主やその跡継ぎ、官吏、官立学校生徒、代位料（270円）支払者などを兵役免除とする広範な免役規定が設けられていた。このため、実際に徴兵されるのは農家の二男・三男以下が中心となり、不公平感から各地で反対一揆が発生した。 |
| 問8 | 答え 4 第1回帝国議会 | 1890年に召集された第1回帝国議会において、山県有朋首相は施政方針演説を行い、国家の主権が及ぶ範囲である「主権線」と、国家の安全に密接に関係する隣接地域（朝鮮半島）である「利益線」の防衛を主張した。これにより、政費節減を掲げる民党との間で予算案をめぐる激しい対立が生じることとなった。 |
| 問9 | 答え 2 ドイツ | 自由民権運動に対抗し、天皇中心の集権的な国家体制を築くため、明治政府はイギリスやフランスのような議会主導の体制ではなく、君主権の強いプロイセン（ドイツ）の憲法体制を模範としました。伊藤博文は現地でグナイストやシュタインらに師事し、その憲法理論を日本に導入しました。 |
| 問10 | 答え 2 ガラ紡 | 明治初期に臥雲辰彦によって考案されたガラ紡は、従来の和風の手紡ぎと西洋式の機械紡績との中間的な技術として位置づけられる。安価で製作が容易であり、水力を利用できたため、東海地方などの河川沿いを中心に急速に普及し、日本の初期の綿糸生産に大きく貢献した。 |